



1. WinActorの将来像

1.1 WinActorの世界観

(1) 人間と寄り添うロボ

WinActorは人間を代替するのではなく、人間と寄り添い、互いに成長する関係を構築する。

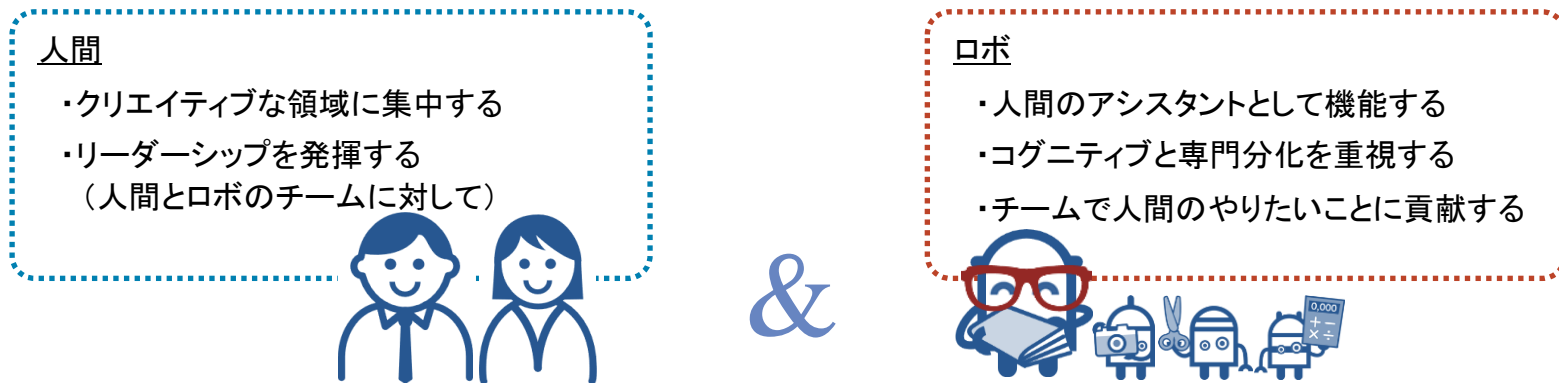
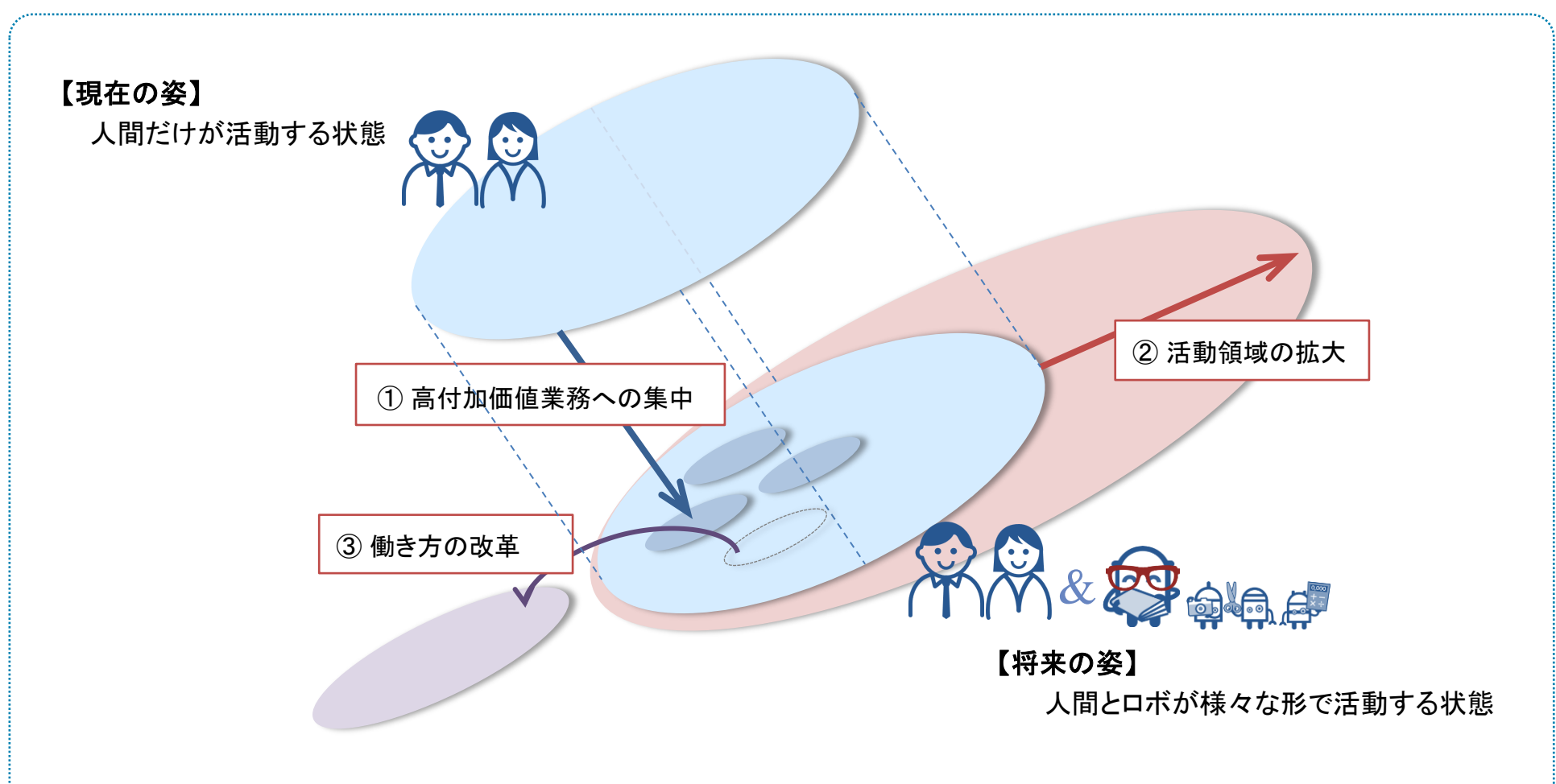


図 1.1-1 WinActor が描く人間とロボの関係性

(2) 人間の活動を変えていくロボ

ロボは人間の活動領域を変えていく。

WinActorはホワイトカラーの活動を変革する。



【変化の内容】

① 高付加価値業務への集中

→ ロボのサポートが人間を定型作業・雑事から解放する。
人間はより高度な領域(戦略の策定やクリエイティブな活動など)に集中する。

② 活動領域の拡大

→ 人間とロボのチームにより、リソースやスキルマッチの問題の多くが解決する。
人間はこれまで参画できなかった、より幅広い領域で活動できる。

③ 働き方の改革

→ ロボとのコラボレーション(人間-ロボ連携、ロボ-ロボ連携)が、働き方の制約を減少させる。
人間は今までにない働き方(時間、ロケーションなど)を選択できる。

図 1.1-2 WinActor による人間の活動の変化

1. WinActorの将来像

1.2 人間とロボの関わり方

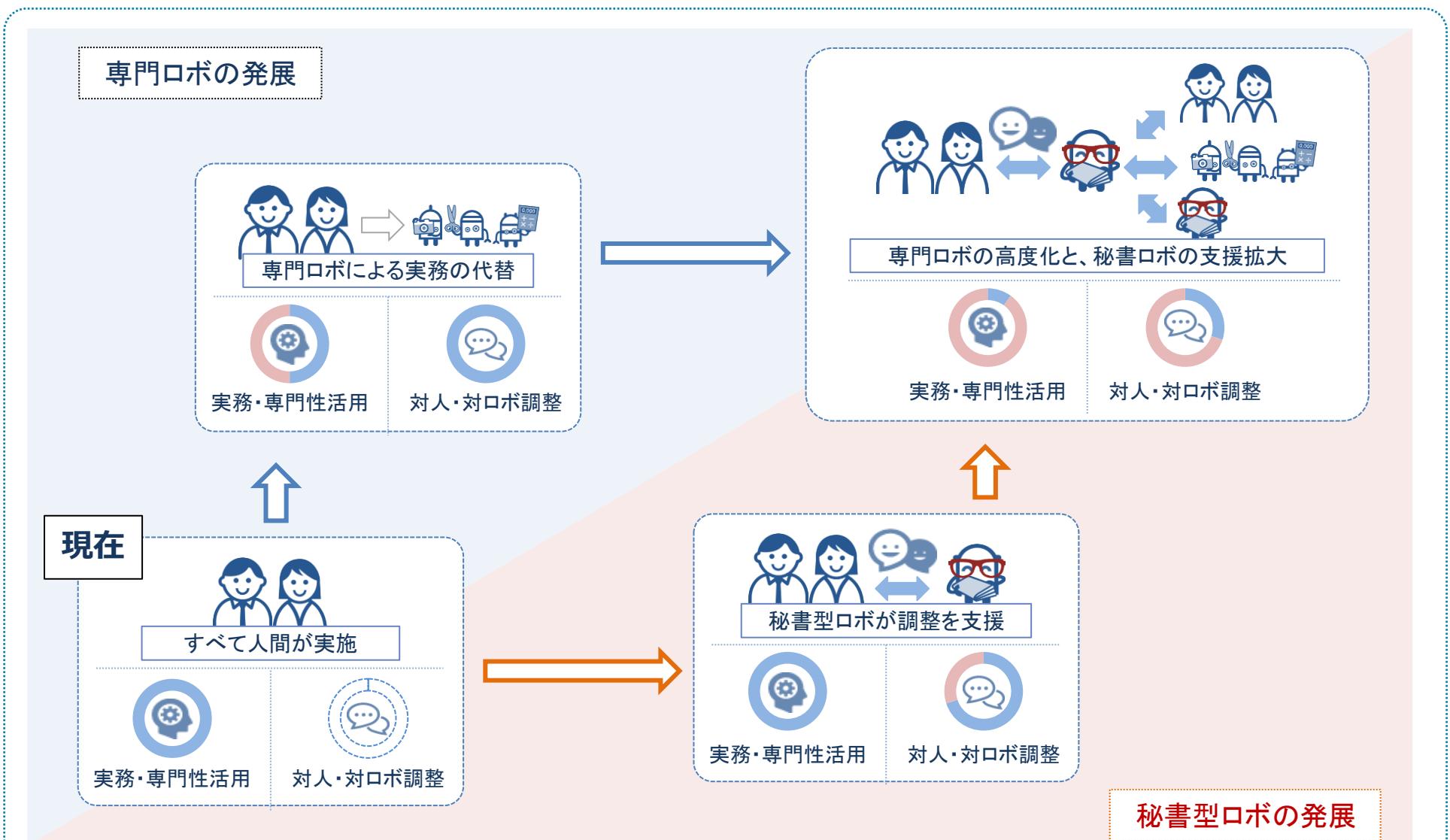
(1) 人間と寄り添う2種類のロボ

WinActor は「秘書型ロボ」と「専門ロボ」の2種類の概念でロボを構築する。

	人間	秘書型ロボ	専門ロボ群
役割	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定 高付加価値業務に専念 	<ul style="list-style-type: none"> 「発想」と「調整」を支援 人間の発想を実務に変換 	<ul style="list-style-type: none"> 「実務」と「専門性」を支援 データ蓄積と学習で高度化
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ロボの発展に応じた役割変更 ロボの不得意領域に対応 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者ごとのカスタマイズ ロボ間で学習内容を共有 	<ul style="list-style-type: none"> 専門領域に応じたサービス 学習器による成長
キーワード	—	<ul style="list-style-type: none"> 分散協調、強化学習 	<ul style="list-style-type: none"> シナリオ共有 深層学習型／統計的AI

図 1.2-1 人間と寄り添う2種類のロボ

(2) 人間とロボの関係性



ロボの発展が人間を高付加価値業務に集中させ、従来より幅広い業務・従来と異なる働き方で活躍できるようになる。

- ・専門ロボの発展は、ロボが実施可能な実務・専門領域を拡大する。

- 人間を定型作業から解放する。また専門ロボの支援が、より高度な業務の遂行を可能にする。

- ・秘書型ロボは対人・対ロボの調整を担い、人間の負担を最小化する。

- 自然言語を理解し、人間と会話するようにロボに指示を送ることができる。

専門ロボを統制し、人間は専門ロボを意識することなく、高度な専門性を活用することができる。

他の人間・ロボと連携を強化し、人間とロボとで作るチームのパフォーマンスを最大化する。

図 1.2-2 WinActor による人間とロボの関係性の変化



2. WinActor suiteのロードマップ

2.1 WinActor suite の考え方

WinActor は今後、秘書型ロボと専門ロボの概念を軸にした拡張を続け WinActor suite を構築する。

秘書型ロボはユーザを直接的に支援し、専門ロボは外部のサービスと連携しつつ、要求に応える専門性を発揮していく。

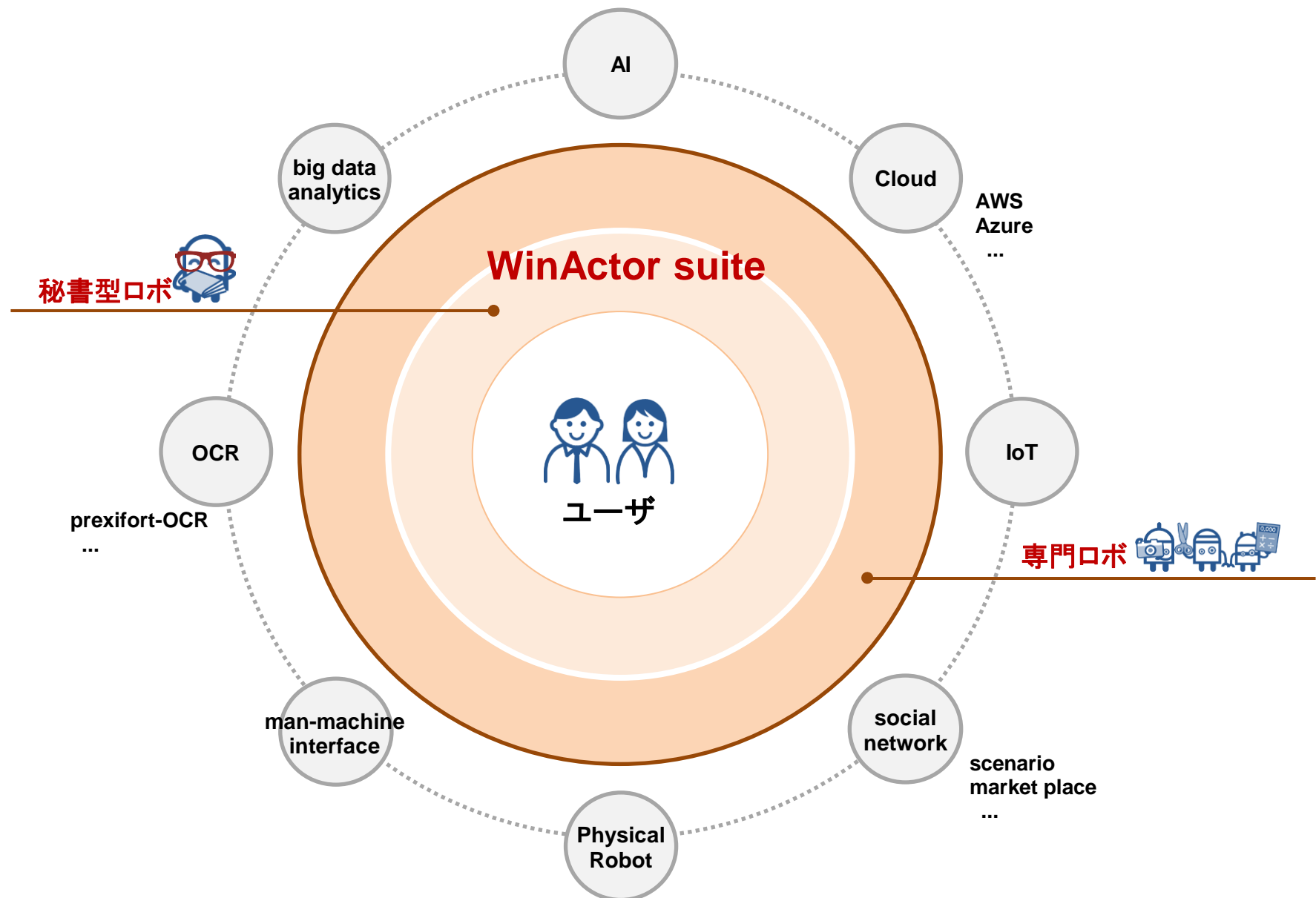


図 2.1-1 WinActor suite の考え方

2.2 WinActor suite の段階的成長

(1) 成長の方向性

WinActor suite は大きく3つ軸（2つのロボの方向性と基礎となる自動化の拡大）で成長する。

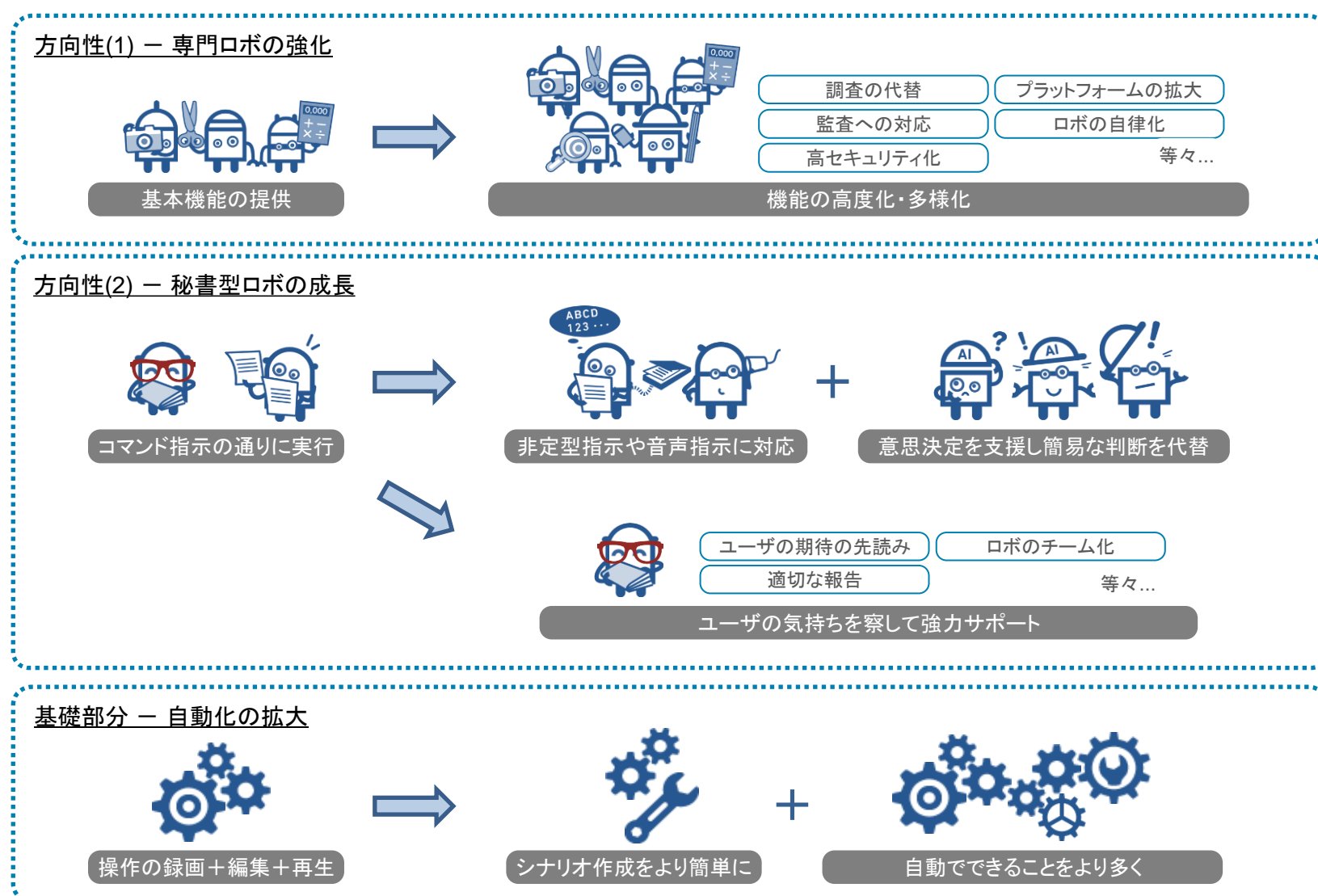


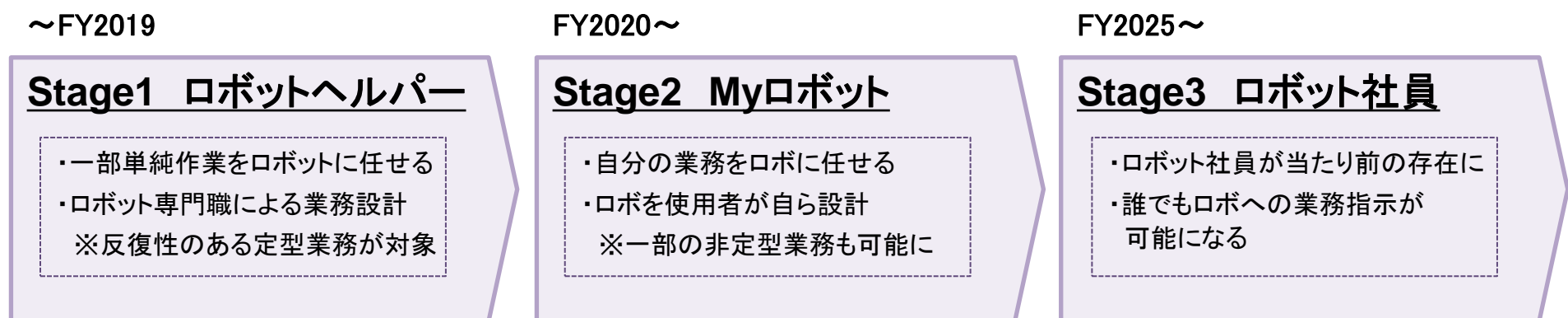
図 2.2-1 WinActor suite の成長の軸



2. WinActor suiteのロードマップ

(2) 成長の段階

また、WinActorはRPAによる働き方変化を Stage 1～3 の3段階で整理した。
Stageが進むに従い、人とロボの関わり方が変化していくと予想している。



Stageと成長の方向性(専門ロボ/秘書型ロボ/基礎部分)の関連は以下の通り。
年度ごとの製品開発予定は「製品ロードマップ」を参照のこと。

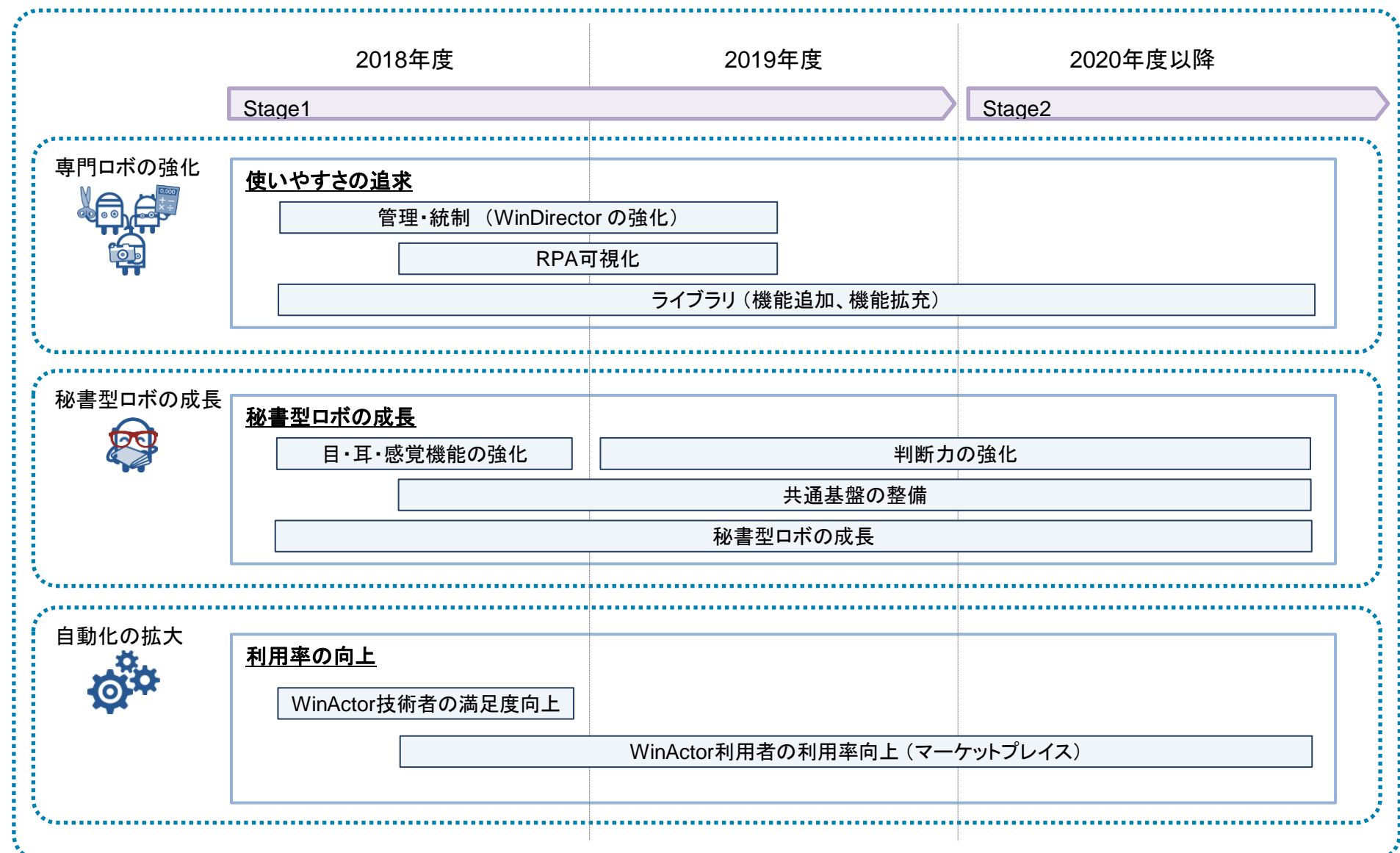


図 2.2-2 WinActor suite のロードマップ (概略版)